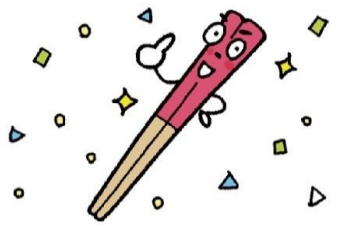


給食センターだより



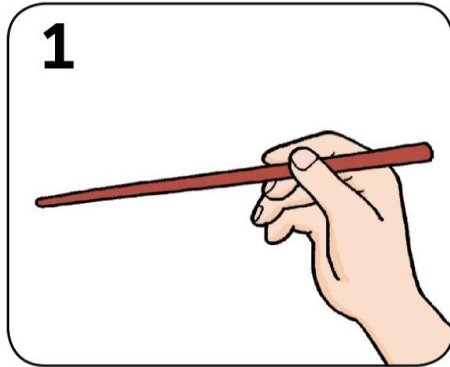
2020年度 第10号
土幌町学校給食センター

和食の食事作法は「はしに始まり、はしに終わる」といわれるほど、はしの使い方はとても重要です。はしは「切る」、「はさむ」、「混ぜる」などの多様な機能があるので正しい持ち方や使い方を身につけると、食事がスムーズにできます。



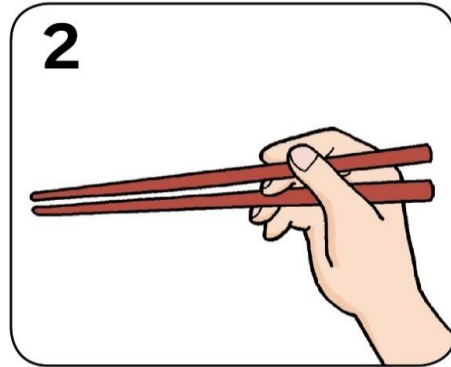
やってみよう!

基本のはしの持ち方



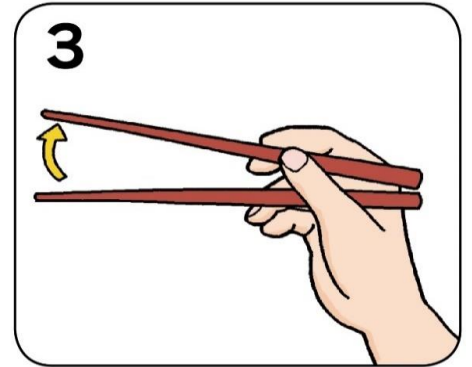
1

上のはしは、正しい鉛筆の持ち方で軽く持ち、数字の1を書くように縦に動かしてみましよう。



2

下のはしは、親指のつけ根から、中指と薬指の間に通します。はし先はそろえましよう。

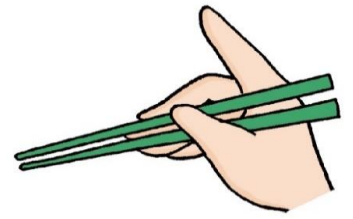
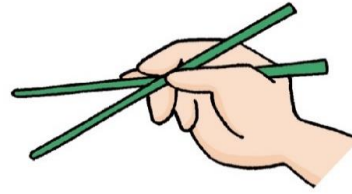
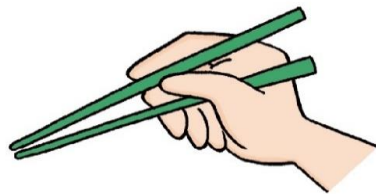


3

親指を支点にして、中指で上のはしを持ち上げ、上のはしだけを動かしてみましよう。

こんな持ち方になっていませんか？

間違った持ち方をしている人は、見直してみましよう。



今月の行事

節分



どうして節分に豆をまくの？

五穀のうちの一つで重要な穀物である豆には、昔から霊力があると信じられていました。そのため、災いや病気などの目に見えないものを鬼という形にあらわして豆をまき、邪気を追いはらって福を呼び込んだそうです。

節分の日、ご家庭で豆まきをしたり、いり豆を食べたりしてみまませんか？



今年の節分は2月2日です。節分は「立春の前日」と決められていますが、日にちが固定されているわけではありません。節分が2日になるのは1897年（明治30年）以来124年ぶり、3日でなくなるのは1984年（昭和59年）以来37年ぶりだそうです。